

2017年4月20日 全7頁

# Indicators Update

## 2017年3月貿易統計

輸出金額が市場コンセンサスを上回る

経済調査部  
エコノミスト 前田 和馬  
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2017年3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+12.0%と、4ヶ月連続で前年を上回り、事前コンセンサス(同+6.2%)を大きく上回った。前年比で見た輸出数量のプラス幅は縮小(2月:同+8.3%→3月:同+6.6%)したものの、輸出価格のプラス幅は前月から拡大(2月:同+2.8%→3月:同+5.0%)した。
- 季節調整値で見た輸出金額は前月比▲3.5%と8ヶ月ぶりの減少、輸出数量は同▲2.8%(季節調整値は大和総研による)と2ヶ月ぶりの減少となった。輸出数量を地域別に見ると、米国向けが前月比▲1.4%、EU向けが同▲1.3%、アジア向けは同▲7.3%といずれも2ヶ月ぶりに減少となった。アジア向けについては、春節の影響で2月の輸出が上振れしており、その反動が出たものと思われる。
- 輸入金額の減少を受けて2016年度の貿易収支は4兆69億円と6年ぶりに黒字に転じた。
- 先行きの輸出については、海外経済が底堅い成長を続けるなか、引き続き緩やかな増加基調をたどるとみている。ただし、トランプ政権の成立を受け、米国の通商政策に不透明感がある点はリスク要因として挙げられよう。仮に日米貿易摩擦問題が表面化するようなこととなれば、日本の輸出産業は打撃を受ける可能性がある。

図表1: 貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2016年						2017年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
輸出金額	▲14.0	▲9.6	▲6.9	▲10.3	▲0.4	5.4	1.3	11.3	12.0
コンセンサス									6.2
DIR予想									6.6
輸入金額	▲24.6	▲17.0	▲16.1	▲16.3	▲8.7	▲2.5	8.4	1.2	15.8
輸出数量	▲2.4	0.8	4.7	▲1.4	7.4	8.4	▲0.3	8.3	6.6
価格	▲11.9	▲10.3	▲11.1	▲9.0	▲7.3	▲2.7	1.6	2.8	5.0
輸入数量	▲4.0	3.8	▲1.6	▲2.5	3.6	3.6	6.3	▲4.3	4.1
価格	▲21.4	▲20.1	▲14.8	▲14.1	▲11.9	▲5.9	2.0	5.7	11.2
貿易収支	5,045	▲346	4,866	4,812	1,465	6,359	▲10,919	8,135	6,147

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

## 貿易収支は2ヶ月連続の黒字

2017年3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+12.0%と、4ヶ月連続で前年を上回り、事前コンセンサス(同+6.2%)を大きく上回った。前年比で見た輸出数量のプラス幅は縮小(2月:同+8.3%→3月:同+6.6%)したものの、輸出価格のプラス幅は前月から拡大(2月:同+2.8%→3月:同+5.0%)した。

足下の為替は円高方向に推移しているものの、貿易統計には3週間程度遅れて反映されることから、3月の税関長公示レートは113.72円/ドルと、前年比で見ると0.5%の円安水準にある。現在の為替相場が継続した場合、前年比で見た為替水準は4月からは再び円高に転じる可能性がある。

一方、輸入金額は前年比+15.8%と3ヶ月連続で前年を上回った。輸入金額を価格要因と数量要因に分けてみると、輸入数量は同+4.1%、輸入価格は同+11.2%であった。この結果、貿易収支は6,147億円と2ヶ月連続の黒字となった。

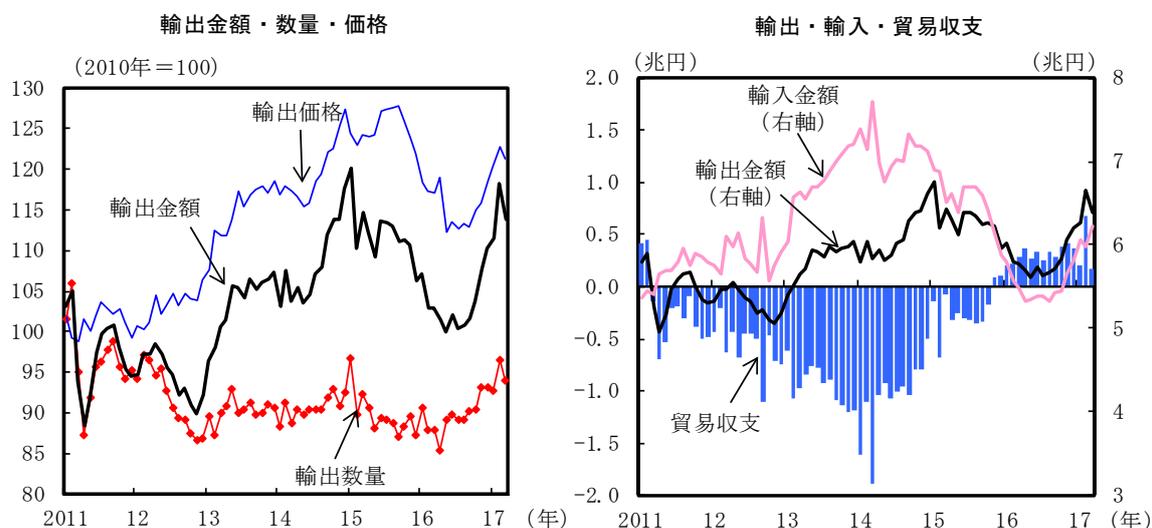
なお、貿易統計の結果から推計すると、1-3月期のGDPに対する外需寄与度は、輸出拡大により僅かではあるがプラス寄与になることが見込まれる。

## 米国・EU・アジア向けの輸出数量はいずれも減少

季節調整値で見た輸出金額は前月比▲3.5%と8ヶ月ぶりの減少、輸出数量は同▲2.8%(季節調整値は大和総研による)と2ヶ月ぶりの減少となった。

輸出数量を地域別に見ると、米国向けが前月比▲1.4%、EU向けが同▲1.3%、アジア向けは同▲7.3%といずれも2ヶ月ぶりに減少となった。アジア向けについては、春節の影響で2月の輸出が上振れしており、その反動が出たものと思われる。米国向けでは映像機器や記録媒体が増加した一方、好調であった自動車販売に頭打ち感が見られていることから、乗用車は減少している。EU向けでは欧州経済の持ち直しを背景に、堅調に推移している乗用車や自動車部品が増加したものの、記録媒体等が全体を押し下げた。また、アジア向けではICの輸出数量が堅調を維持している一方、引き続き鉄鋼や非鉄金属などの輸出は減少した。

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、貿易収支 (季節調整値)



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

### 輸入金額は2ヶ月ぶりに増加

季節調整値で見た輸入金額は前月比+3.4%、輸入数量は前月比+5.3%（季節調整値は大和総研による）といずれも2ヶ月ぶりの増加となった。一方、輸入価格については同▲1.1%と5ヶ月ぶりの減少となった。

### 2016年度の貿易収支は6年ぶりの黒字

輸入金額の減少を受けて、2016年度の貿易収支は4兆69億円と6年ぶりに黒字に転じた。

輸出金額は前年度比▲3.5%の71兆5,247億円であった。輸出数量は同+2.4%の増加となったものの、円高により輸出価格が同▲5.7%となったことが輸出金額の減少に寄与した。輸出数量を地域別に見ると、アメリカが同▲0.1%と僅かに減少した一方、EUが同+4.8%、アジアが同+4.5%、中国が同+7.6%と増加している。

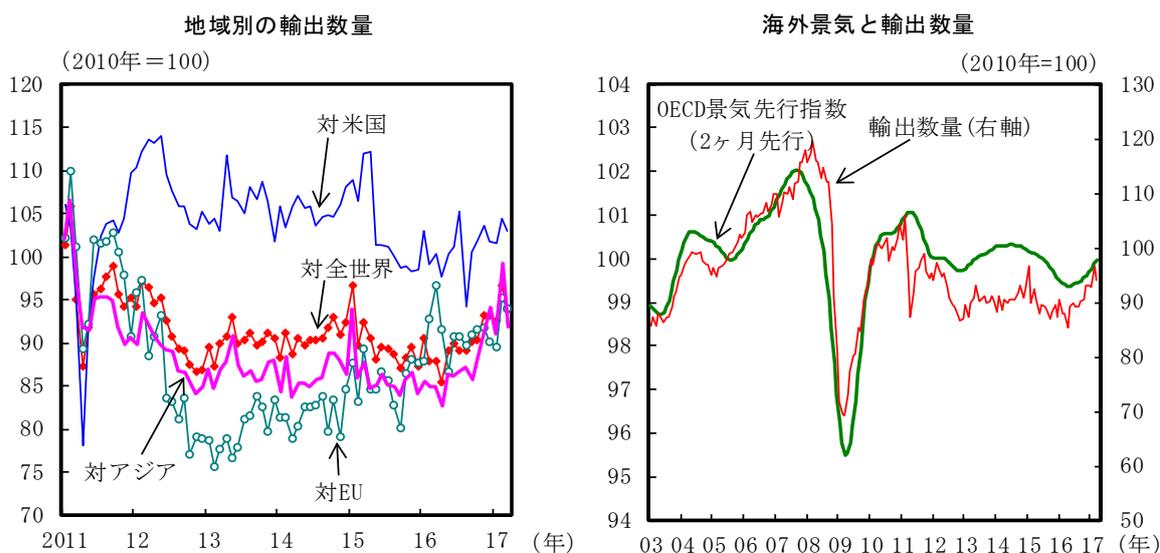
一方、輸入金額は前年度比▲10.2%の67兆5,179億円、輸入数量は同+0.5%、輸入価格は▲10.7%となった。輸入金額の大幅な減少は円高と原油安による影響と考えられ、鉱物性燃料の輸入金額は同▲18.2%と前年度から約3兆円減少している。

### 先行きは緩やかな増加基調が続くと見込むが、トランプリスクに注意したい

先行きの輸出について、海外経済が底堅い成長を続けるなか、引き続き緩やかな増加基調をたどるとみている。米国向け輸出については、自動車販売に頭打ち感は見られるものの、米国内の雇用環境の改善等を背景として、消費財等の輸出が底堅く推移するとみられる。欧州経済は、ECBによる金融緩和の効果等により持ち直し基調が続いている。先行きの欧州向け輸出についても消費財を中心として、回復基調が継続すると見込んでいる。アジア経済に関しては、米国を中心とした先進国の経済・金融動向によって、上下双方のリスクが考えられるものの、景気は底を打ったとみられる。

ただし、トランプ大統領が TPP からの離脱や NAFTA の再交渉・脱退を表明するなど、米国の通商政策に不透明感がある点はリスク要因として挙げられよう。特に、トランプ大統領が日本の自動車貿易について「不公平だ」と主張している点が危惧される。仮に日米貿易摩擦問題が表面化するようなこととなれば、日本の輸出産業は打撃を受ける可能性がある。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



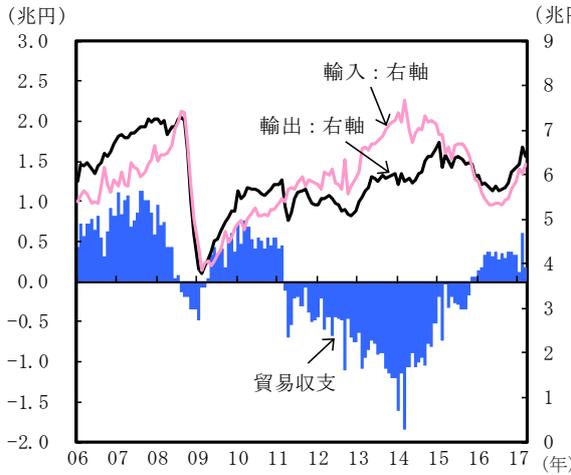
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

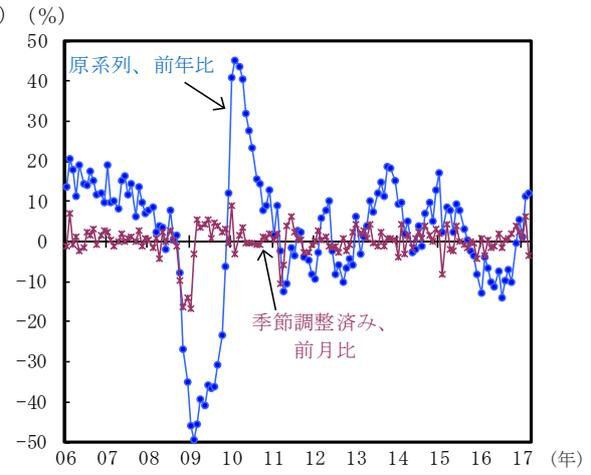
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

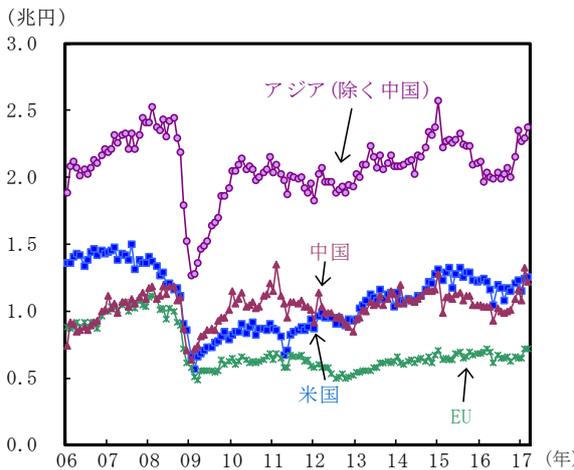


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

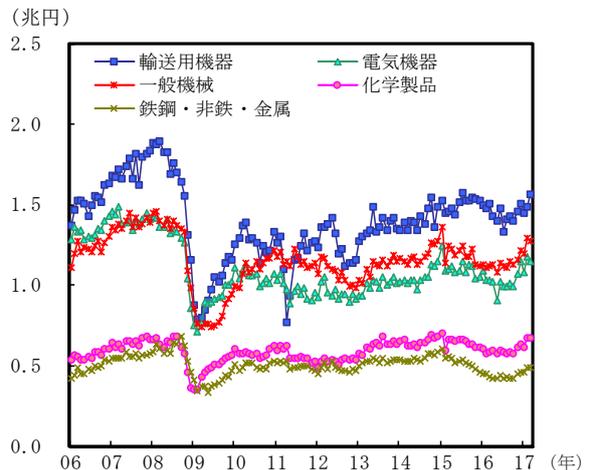


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

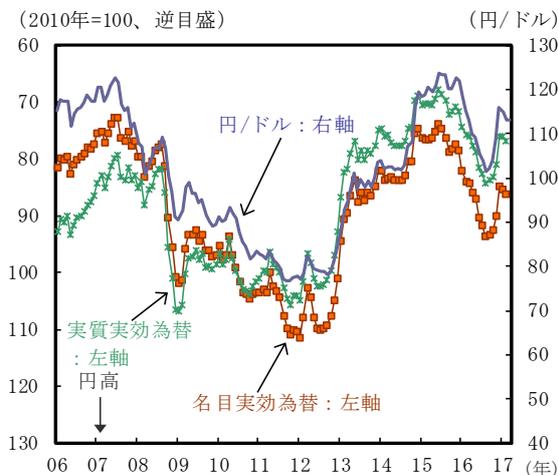


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

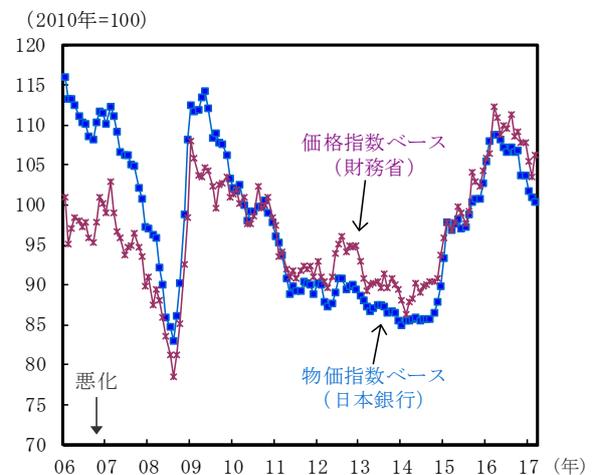


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.3	▲0.4	5.4	1.3	11.3	12.0	100.0	12.0
食料品	▲3.9	3.4	5.1	▲15.6	21.5	13.9	0.8	0.1
原料品	▲26.3	▲2.4	12.4	15.3	29.5	24.0	1.5	0.3
鉱物性燃料	▲33.2	▲19.7	18.0	52.6	25.9	33.8	1.3	0.4
化学製品	▲9.5	0.5	4.0	1.5	16.4	14.2	10.1	1.4
原料別製品	▲15.2	▲6.4	▲1.1	▲0.8	6.8	10.5	10.9	1.2
鉄鋼	▲19.3	▲12.1	▲4.8	8.1	11.5	15.6	4.2	0.6
非鉄金属	▲8.4	5.8	13.3	▲1.2	10.4	17.5	1.8	0.3
金属製品	▲14.0	▲1.9	▲0.7	▲7.4	2.6	4.7	1.5	0.1
一般機械	▲7.9	2.9	8.9	5.3	16.6	14.0	20.4	2.8
電気機器	▲10.9	3.2	9.2	▲1.1	13.5	10.9	16.6	1.8
半導体等電子部品	▲7.1	6.5	14.8	3.2	16.8	7.6	4.6	0.4
I C	▲5.9	10.0	22.5	8.5	23.1	10.0	3.1	0.3
映像記録・再生機器	▲18.6	▲3.2	21.1	1.5	15.0	▲1.4	0.6	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲20.8	▲2.0	27.1	▲10.9	21.2	8.0	0.4	0.0
電気回路等の機器	0.1	9.6	18.0	8.7	22.4	22.9	2.5	0.5
輸送用機器	▲9.2	▲4.6	▲0.6	▲3.5	▲0.2	4.0	24.0	1.0
自動車	▲11.2	▲8.5	▲4.7	▲6.7	0.5	1.3	14.4	0.2
自動車の部分品	▲0.9	10.4	16.5	12.5	21.8	21.2	5.0	1.0
その他	▲6.7	5.4	11.7	5.1	19.2	22.1	14.5	2.9
科学光学機器	▲11.8	▲6.6	2.7	3.5	23.4	25.5	3.1	0.7

米国向け輸出金額 内訳								
	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲11.2	▲1.8	1.4	▲6.6	0.4	3.5	100.0	3.5
食料品	▲9.0	6.4	5.4	▲1.3	9.0	0.2	0.6	0.0
原料品	▲48.1	▲24.4	8.0	▲9.1	▲0.5	21.4	0.4	0.1
鉱物性燃料	22.7	46.6	155.4	580.5	127.8	259.5	0.2	0.1
化学製品	▲13.4	▲12.4	▲1.3	▲3.7	▲3.8	3.2	5.7	0.2
原料別製品	▲23.3	▲12.1	▲8.9	▲9.1	1.3	9.8	6.6	0.6
鉄鋼	▲40.2	▲36.6	▲27.3	▲10.9	8.9	23.4	1.5	0.3
非鉄金属	▲8.5	1.0	8.1	5.7	28.5	40.9	0.6	0.2
金属製品	▲10.5	7.4	8.0	▲6.7	▲6.9	▲0.8	1.7	▲0.0
一般機械	▲11.7	▲5.2	▲2.0	▲4.0	2.6	8.1	23.5	1.8
電気機器	▲11.1	▲2.2	▲1.0	▲7.8	▲1.8	5.9	14.7	0.8
半導体等電子部品	▲16.4	▲12.5	▲12.6	▲19.4	▲4.8	4.7	1.8	0.1
I C	▲15.4	▲2.7	▲6.9	▲13.8	▲3.6	6.4	0.9	0.1
映像記録・再生機器	▲27.0	▲21.8	28.3	▲3.5	▲15.0	▲7.4	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	15.4	▲3.3	27.5	▲8.2	29.0	203.2	0.5	0.4
電気回路等の機器	▲0.5	2.5	▲1.6	▲9.0	5.1	14.4	1.6	0.2
輸送用機器	▲6.1	6.1	7.7	▲8.4	1.5	▲0.9	38.2	▲0.4
自動車	▲2.7	10.0	9.7	▲10.1	1.1	▲3.8	27.2	▲1.1
自動車の部分品	▲9.2	9.4	22.8	2.9	22.5	24.2	7.1	1.4
その他	▲20.6	▲16.1	▲7.6	▲5.6	▲6.5	1.9	10.1	0.2
科学光学機器	▲15.0	▲12.9	9.3	▲4.1	0.2	15.3	2.3	0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.5	▲2.2	▲4.0	▲5.6	3.3	1.4	100.0	1.4
食料品	▲4.2	▲29.0	6.8	0.6	20.2	30.3	0.4	0.1
原料品	▲34.3	▲2.6	▲8.2	▲10.3	8.7	3.4	0.9	0.0
鉱物性燃料	▲51.9	379.4	15.8	679.9	▲43.1	62.5	0.3	0.1
化学製品	▲12.8	▲6.5	▲8.6	▲5.2	5.1	5.8	8.3	0.5
原料別製品	▲20.1	▲25.2	▲17.5	▲19.8	▲6.8	6.3	6.2	0.4
鉄鋼	▲44.8	▲67.0	▲57.4	▲54.1	▲29.9	▲2.9	0.8	▲0.0
非鉄金属	▲21.2	▲24.8	▲16.7	11.4	2.3	19.6	0.7	0.1
金属製品	▲10.0	▲18.1	▲5.5	▲10.9	0.3	10.5	1.4	0.1
一般機械	▲15.4	▲9.0	8.4	0.1	9.8	7.1	23.1	1.6
電気機器	▲16.1	▲2.2	▲4.4	▲4.8	1.7	3.7	16.4	0.6
半導体等電子部品	▲14.0	▲8.2	▲3.0	▲13.4	▲3.7	4.2	2.3	0.1
I C	▲17.0	▲14.0	7.5	▲11.8	▲7.8	7.0	1.3	0.1
映像記録・再生機器	▲34.5	▲21.6	▲0.1	7.2	11.6	▲9.4	0.8	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲20.5	12.1	▲47.8	▲61.0	▲54.3	▲41.6	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲8.7	▲6.9	▲7.4	▲3.7	4.4	7.4	1.7	0.1
輸送用機器	2.2	2.6	▲7.0	▲8.8	▲3.9	▲2.7	27.7	▲0.8
自動車	▲6.2	▲13.8	▲18.2	▲12.2	▲7.3	22.3	15.4	2.8
自動車の部分品	▲0.4	10.2	11.3	8.3	15.4	14.0	5.7	0.7
その他	▲0.9	13.3	▲7.4	▲4.2	9.9	▲6.2	16.6	▲1.1
科学光学機器	▲11.1	▲6.3	▲6.4	▲7.1	1.9	11.0	3.0	0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.9	3.4	12.0	6.0	21.0	16.3	100.0	16.3
食料品	▲0.9	5.3	3.2	▲22.9	22.3	13.4	1.0	0.1
原料品	▲22.3	1.4	20.6	22.8	35.0	29.9	2.3	0.6
鉱物性燃料	▲42.7	▲41.8	11.0	24.8	25.0	38.9	1.7	0.6
化学製品	▲7.8	4.1	7.3	4.6	22.1	18.5	14.2	2.6
原料別製品	▲12.9	▲2.2	2.1	3.2	12.9	12.2	13.8	1.7
鉄鋼	▲17.0	▲6.5	0.5	15.7	20.2	17.5	5.8	1.0
非鉄金属	▲7.6	7.4	15.4	▲3.2	11.9	16.8	2.9	0.5
金属製品	▲14.5	0.7	▲4.2	▲5.4	4.7	5.6	1.6	0.1
一般機械	▲3.5	8.0	17.2	11.0	28.7	20.2	21.3	4.2
電気機器	▲10.2	5.2	15.7	1.2	21.2	13.7	20.6	2.9
半導体等電子部品	▲5.8	9.5	19.1	6.6	21.0	8.6	7.4	0.7
I C	▲4.8	12.3	25.4	11.1	27.4	10.4	5.2	0.6
映像記録・再生機器	▲2.7	16.2	27.3	▲2.7	35.3	5.5	0.6	0.0
音響・映像機器の部分品	▲20.3	▲3.7	60.0	▲3.9	39.0	1.5	0.4	0.0
電気回路等の機器	2.0	14.7	25.7	11.8	29.7	29.1	3.5	0.9
輸送用機器	▲10.9	5.8	11.8	10.4	8.2	8.0	9.3	0.8
自動車	▲16.0	▲5.0	1.2	▲4.0	1.9	▲8.7	3.9	▲0.4
自動車の部分品	5.6	13.9	17.4	17.5	23.6	19.1	3.8	0.7
その他	▲10.4	4.2	14.3	6.7	23.2	18.4	15.7	2.8
科学光学機器	▲11.7	▲6.1	3.1	10.4	35.0	29.2	4.0	1.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.2	4.4	12.4	3.1	28.2	16.4	100.0	16.4
食料品	33.5	28.1	11.6	▲17.2	90.2	56.9	0.7	0.3
原料品	▲25.0	7.1	30.3	19.4	40.1	41.2	3.5	1.2
鉱物性燃料	▲7.3	4.8	101.5	68.1	16.1	6.5	0.8	0.1
化学製品	▲5.2	9.2	13.4	2.5	33.9	17.0	15.2	2.6
原料別製品	▲12.6	2.9	6.7	▲8.0	11.1	9.1	12.0	1.2
鉄鋼	▲20.1	▲7.9	2.8	3.7	25.0	14.4	4.0	0.6
非鉄金属	▲5.4	23.6	37.3	▲22.5	▲13.7	1.5	2.7	0.0
金属製品	▲13.0	5.6	▲6.1	▲3.6	13.8	6.9	1.7	0.1
一般機械	▲6.4	14.8	13.8	10.1	33.1	14.1	22.9	3.3
電気機器	▲14.6	1.1	15.5	▲3.6	26.5	16.6	21.7	3.6
半導体等電子部品	▲5.9	▲1.4	10.1	0.4	22.6	8.8	6.4	0.6
I C	▲6.5	▲4.7	10.1	1.9	22.4	8.2	4.5	0.4
映像記録・再生機器	▲4.8	48.8	45.8	▲23.7	26.0	3.2	0.8	0.0
音響・映像機器の部分品	▲31.9	▲14.5	49.3	▲11.9	53.3	▲9.9	0.6	▲0.1
電気回路等の機器	6.1	30.6	38.2	5.9	43.4	48.2	4.1	1.6
輸送用機器	0.7	13.5	22.3	18.6	25.3	13.1	9.1	1.2
自動車	▲11.4	4.7	6.7	0.1	▲5.2	▲10.6	3.2	▲0.4
自動車の部分品	13.4	23.1	38.2	40.1	55.1	40.2	5.7	1.9
その他	▲9.5	▲12.5	▲2.3	2.0	31.9	22.8	14.1	3.1
科学光学機器	▲11.2	▲12.7	▲0.9	6.3	48.6	36.8	6.3	2.0

(出所) 財務省統計より大和総研作成